

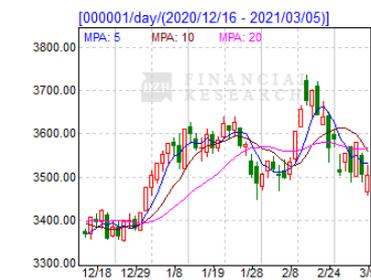


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	31,496.30	572.16	1.85	1.82	2.91	30,606.48
NASDAQ	12,920.15	196.68	1.55	-2.06	0.25	12,888.28
日経225	28,864.32	-65.79	-0.23	-0.35	5.17	27,444.17
上海総合	3,501.99	-1.50	-0.04	-0.20	0.83	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,262.80	-17.91	-0.34	-1.39	0.99	5,211.29
ハンセン	29,098.29	-138.50	-0.47	0.41	6.86	27,231.13
中国企業	11,292.22	-33.36	-0.29	0.40	5.16	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.4%高と反発、上海総合指数は0.2%安

香港市場ではハンセン指数が0.4%高と反発した。週初は買い戻しが優勢だったが、その後は米長期金利の動きに左右される展開。週末にかけてNY市場の下落を受けて続落したが、5日に開幕した中国の全人代で実勢貸出金利引き下げの方針が示され、金融引き締めへの警戒感が後退したことは一定の支えとなった。本土市場では上海総合指数が週間で0.2%安と続落。週初は買い戻しが優勢だったが、NY市場の下落が相場の重しとなった。節目の3500ポイントを挟んだ値動きが続いたが、終値では同水準を守って引けた。

今週の展望:香港市場は神経質な展開か、引き続き米長期金利の動向が焦点

香港市場は神経質な展開か。先週末のNY市場の上昇を受けて週初は買い戻しが先行しそうだが、翌週に米FOMCを控えるなか米長期金利の動向に神経質に反応する地合いが続く。今週末にはハンセン指数に新たに3銘柄が加わる。既存の主力銘柄のウェイトが低下することも相場の重しとなる公算が大きい。中国の全人代では閉幕日の11日に行われる李克強首相の記者会見に注目が集まる。本土市場も神経質な展開か。相場の先高観は根強いものの、米長期金利上昇への警戒感が上値を抑えそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国工商银行 (01398)	5.47	8.10
2 チャイナ・モバイル (00941)	56.85	5.87
3 ペトロチャイナ (00857)	2.93	5.40
4 中国銀行 (03988)	2.84	4.41
5 中銀香港 (02388)	26.90	4.26
6 中国建設銀行 (00939)	6.49	4.17
7 交通銀行 (03328)	4.55	3.88
8 チャイナ・コム (00762)	5.11	3.86
9 銀河娛樂 (00027)	73.55	3.74
10 瑞声科技 (02018)	42.85	2.51

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 薬明生物技術 (02269)	89.50	-6.82
2 九龍倉置業地産 (01997)	43.65	-5.83
3 恒隆地産 (00101)	19.08	-5.07
4 新鴻基地産 (00016)	119.20	-4.33
5 中国海外発展 (00688)	18.84	-4.07
6 中国生物製薬 (01177)	8.28	-4.06
7 中国蒙牛乳業 (02319)	40.75	-3.89
8 碧桂園 (02007)	9.29	-3.73
9 Link REIT (00823)	70.65	-3.48
10 吉利汽車 (00175)	24.35	-3.37

▼今週の主なイベント

- 3月10日(水)
- 【中国】物価統計(2月)
- 3月11日(木)
- 【中国】全国人民代表大会閉幕

▼今週の期待材料

- ◆7日発表の中国の1-2月の貿易統計で米ドル建て輸出が61%増加、市場予想を大きく上回る強い結果に
- ◆中国が21年の経済成長率目標を6%以上に設定、実勢の貸出金利を一段と引き下げる方針も発表
- ◆李克強首相が政府活動報告で自動車と家電の消費を促進する方針を発表、EV普及に向けたインフラ整備も

▼今週の懸念材料

- ◆今週末にハンセン指数に新たに3銘柄を追加、既存の主力銘柄のウェイト低下が相場の重しに
- ◆米長期金利上昇に警戒感、先週は米10年債利回りが一時今年最高となる1.62%台まで上昇
- ◆中国の全人代が11日に閉幕、全人代開催期間中の本土市場は過去15年で下落が10回と上昇の2倍

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 青島ビール (00168) : 20年12月本決算速報値、経営効率改善で19%増益
- ☆ 阿里健康 (00241) : ハンセン指数に15日付で新規採用、指数ウェイトは0.89%
- ☆ 香港証券取引所 (00388) : 百度が香港上場へ、早ければ週内にもIPOを開始
- ☆ チャイナ・テレコム (00728) : 9日に20年12月本決算を発表、市場予想は3%増益
- ☆ 安徽コンチセメント (00914) : 20年12月本決算速報値は販売量増加で5%増益
- ☆ JDドットコム (09618) : 11日に20年12月本決算を発表、市場予想は41%増益
- ◇ 美図 (01357) : 5日にビットコインとイーサリアムを総額4000万米ドル購入
- ★ テンセント (00700) : 15日からハンセン指数に占めるウェイトが0.56ポイント低下
- ★ AIAグループ (01299) : 12日に20年12月本決算を発表、市場予想は19%減益
- ★ 小米集団 (01810) : FTSEラッセルがグローバル指数から小米集団を除外すると発表

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。